

普及項目	養殖
漁業種類等	藻類養殖
対象魚類	ヒトエグサ
対象海域	八代海

ヒトエグサ養殖の現地指導について

天草広域本部水産課・阿部 慎一郎

【背景・目的】

天草地区では、ヒトエグサ養殖が盛んであるが、令和 2 年（2020）及び令和 3 年（2021 年）は病害や高水温により不漁となるなど、生産量が安定していない。

そこで、生産量の安定化のため、天草地区の主要産地である新和地区の生産者に対して、ヒトエグサ養殖の管理に係る勉強会及び現場指導を実施した。

なお、本年度は、同地区の令和 2 年（2020）及び令和 3 年（2021 年）の平均生産量約 5.5t 以上の生産量を目標とした。

【普及の内容・特徴】

漁期前の令和 3 年（2021 年）9 月 15 日、同地区のヒトエグサ養殖生産者 9 名を対象に勉強会を開催。適水温での採苗及び適切な干出管理が重要であることを説明。前年に葉体への多量の珪藻の付着によるドタ腐れ病が発生した生産者には、養殖網の設置高の見直しを指導した。また、養殖網の重ね枚数について、採苗時の 12 枚重ねから本張り時の 2 枚重ねへの移行を早めに行うよう指導した。

漁期中は、月に 1～2 回、養殖現場を巡回し、養殖状況の確認と生産者へ指導を行った。

- ・ 9 月下旬から始まった採苗については、概ね順調な芽付きが確認された。
- ・ その後の育苗では、軽度のドタ腐れ病がみられたが、重症化し生産不能となったものはみられなかった。
- ・ ヒトエグサの摘採は 2 月上旬から開始。一部にアマノリ類の混入もあったが、葉体の色調も良く（図 2）、4 月下旬まで順調な生産が行われた結果、生産量は 9.8 t となった（図 3）。

【成果・活用】

指導の結果、令和 2 年（2020）及び令和 3 年（2021 年）の平均生産量を上回る良好な生産が行われた。今後も、継続して指導するとともに、他地区でも同様の指導を実施していく。

【達成度自己評価】

- 5 十分に達成され、目標（指標）を上回る成果が得られた（101%以上）



図1 育苗期の正常な養殖網（左図）及び軽度のドタグサレ病が発生した養殖網（右図）



図2 摘採期の養殖網及び出荷製品

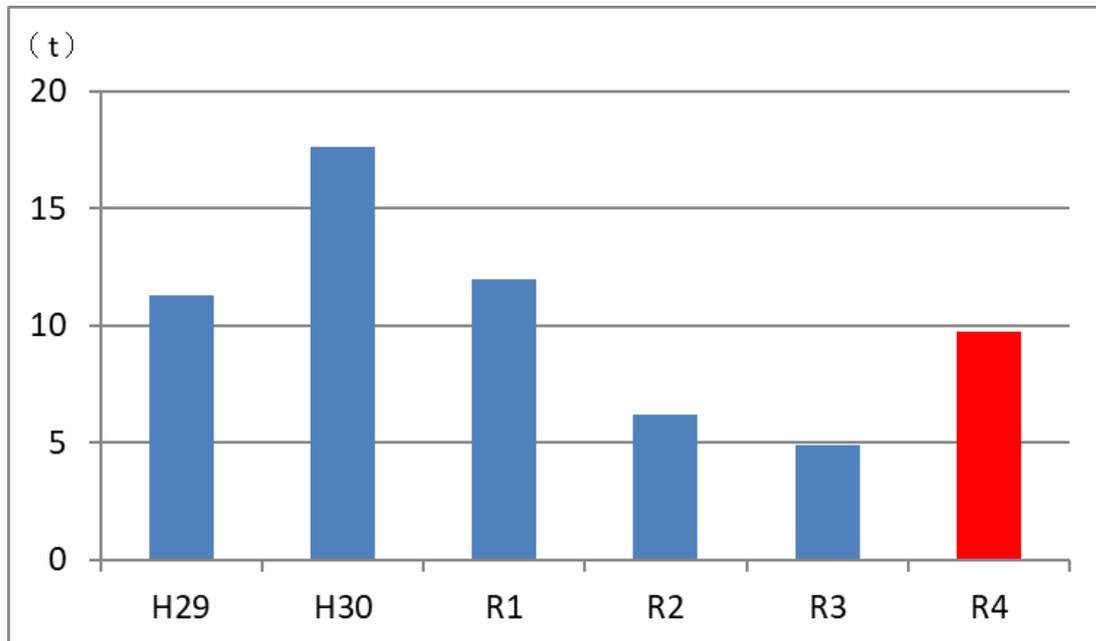


図3 天草市新和町地区の養殖ヒトエグサ生産量の推移